



環境配慮型素材「CR LIMEX」名刺を導入

株式会社PALTAC(本社:大阪府大阪市、代表取締役社長 吉田拓也 以下、「当社」)は、長期ビジョンに基づくサステナビリティ推進の一環として、2026年4月より、株式会社TBM(本社:東京都千代田区、代表取締役CEO 山崎敦義 以下、TBM)が開発した環境配慮型素材「CR LIMEX(シーアールライメックス)」を使用した名刺を導入いたします。

当社は従来サステナビリティ推進の取り組みとして、適切に管理された森林資源の利用を第三者機関が認証する「FSC森林認証紙」を名刺素材に採用しておりましたが、さらなる環境保全への貢献を目的に、「CR LIMEX」へ変更するものです。

「CR LIMEX」は、本来大気中に放出されていた工場排出ガス由来のCO₂と、工場から排出されるカルシウム含有廃棄物などを低環境負荷のプロセスで化学合成したCCU炭酸カルシウムを主原料としており、資源循環を実現する発想から生まれた環境配慮型の低炭素素材です。

名刺100枚あたり約47グラム^{※1}のCO₂を素材内部に取り込み、資源循環と温室効果ガス削減の両立に貢献します。また、紙と異なり木材パルプを使用せず、製造時の水使用量を約94%^{※2}削減できるなど、森林資源や水資源の保全にも寄与する革新的な素材です。

当社はこれまで、TBMと協働し再生プラスチックを50%以上配合した素材を活用した環境配慮型商品の開発に取り組んできました。具体的には、廃プラスチック削減に寄与する「使えば使うほど世界のプラごみを減らせるゴミ袋」や、再生プラスチックを活用したつかいすてない傘「サステナブレラ」を展開し、資源循環と環境負荷低減の両立を図ってきました。

(詳細は当社HPをご参照ください。https://www.paltac.co.jp/sustainability/environment/circulatory_society/)

当社は、長期ビジョンにおける重要課題として掲げる「持続可能な環境・社会に向けた共生・共創」の実現に向け、環境負荷の低減と事業活動の両立に継続的に取り組んでいます。今回の環境配慮型素材使用の名刺導入も、負担を生まない流通づくりを通じて、持続可能な環境・社会の実現に貢献するという当社の目指すミライに沿った取り組みの一つとなります。今後も、事業活動の様々な場面において環境に配慮した取り組みを推進してまいります。

<当社が年間で使用する名刺の使用量 約2,000箱(200,000枚)での保全効果>

- ・守れる森林資源……265kg
- ・守れる水資源……20,000ℓ
- ・閉じ込めるCO₂……94kg

上記の数値はTBMの推定に基づく概算値であり、保証値ではありません。データ取得状況等に応じて変更の可能性がります。

※1 CR LIMEX名刺の厚さ 0.3mm を前提として計算しています。

※2 シート生産時の水使用量は、TBM東北LIMEX工場の実績値に基づいて計算しています。紙生産時の水使用量は、日本製紙連合会の「紙・板紙生産トン当たりの新水利用原単位の推移」を参照しています。

本件に関するお問い合わせは下記までお願いいたします。

総務本部・吉田(TEL 06-4793-1050)

経営企画本部・嶋田(TEL 06-4793-1090)